

講義名	介護実習
開講学年	2
単位	1

授業の達成目標	介護のシステムや方法を理解し、介護が必要な人への栄養補給や食事への工夫を考えることができるようになる。
授業の概要	座学による講義と、学生が体験をする演習を中心に授業をすすめる
授業形式	講義および演習

#### 授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	介護について	マイライフプランについて	自己紹介
2	介護技術実践の基本的な条件	介護技術の条件	ボディメカニクス 脈拍等バイタルチェック
3	介護の過程	ニーズの把握・介護計画・実施・評価	栄養・調理
4	介護の基本的技術	基本的なマナー	移動
5	日常生活における介護技法	保健管理	シーツの整え方
6	日常生活における介護技法	居住環境の整備	住宅改修
7	日常生活における介護技法	居住環境の整備	端座位から立位
8	日常生活における介護技法	居住環境の整備	仰臥位から側臥位

9	日常生活における介護技法	居住環境の整備	入浴・清拭
10	日常生活における介護技法	居住環境の整備	介護用食器
11	日常生活における介護技法	居住環境の整備	排泄
12	日常生活における介護技法	居住環境の整備	車椅子の利用
13	特殊な場合の介護	救急・事故時の対応	救急事故
14	認知症老人の介護	認知症サポーター養成研修	認知症サポーター養成研修
15	まとめ	介護実習のまとめ	

事前・事後学習の内容	社会福祉に関するニュースを見るように努める 授業後、ノートやプリントを確認する
成績評価の方法	・授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。 ・S・A・B・C・Dで判定（Dは不合格）（総合獲得点数 S：90点以上A：80～89点B：70～79点C：60～69点D：59点以下※不合格） ※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。
参考書	社会福祉概論誠信書房
教材	配布プリント